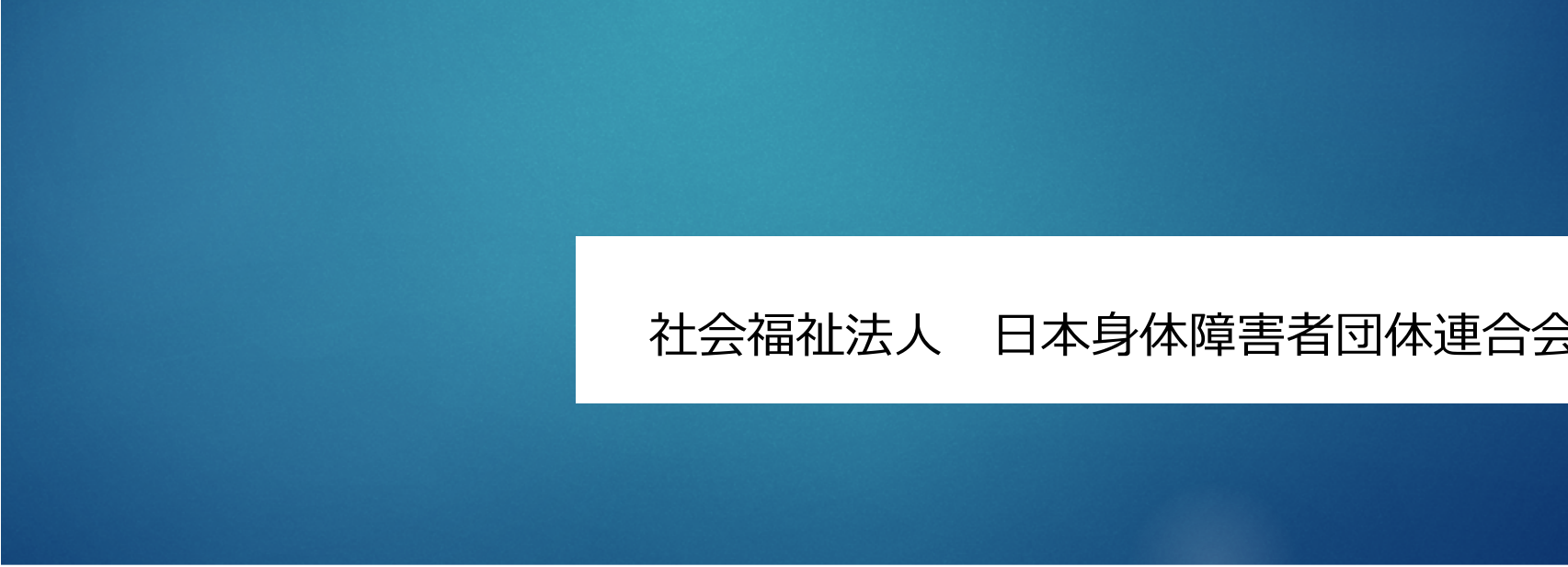




障害者に向けた消費者被害に対する 意識啓発について



社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会の概要

1. 設立年月日：昭和33年6月23日

2. 活動目的及び主な活動内容：

全国61都道府県・政令指定都市の身体障害を中心とする当事者団体と中央の障害種別団体（公社日本オストミー協会、一社全日本難聴者・中途失聴者団体連合会）の62団体で構成。障害のある方の人権の保障、社会参加の促進、地域共生社会の実現をめざして活動。障害の種別や有無にとらわれず、全国組織のネットワークをいかし、国や政党等への要望や政策提言など幅広い活動を行っている。全社協障害関係団体連絡協議会や日本障害フォーラム(JDF)の構成メンバーとしても活動している。

【主な活動内容】

- ・ 日本身体障害者福祉大会の開催
- ・ 中央障害者社会参加推進センター事業
- ・ 障害者相談支援事業及び障害者相談員活動強化
- ・ 障害福祉の向上を目的とした政策提言及び要望活動
- ・ 障害理解促進事業
- ・ バリアフリー促進のための事業
- ・ 出版活動（相談員活動事例集、相談員マニュアル等）
- ・ 機関紙の発行

3. 加盟団体数（又は支部数等）：62団体（令和6年9月時点）

※加盟団体／市区町村の身障協会や障害種別団体等で組織

4. 法人代表： 会長 阿部 一彦

日身連における取組について

- ・研修事業
障害者110番事業研修会等を活用して、障害のある人の消費者被害について学習
- ・相談員活動事例集の発行
相談事例の相談から解決にむけた取組の紹介
- ・機関誌やホームページからの情報提供
高齢消費者・障がい消費者見守りネットワーク連絡協議会の情報や見守り新鮮情報等を加盟団体へ提供
注意喚起とともに身体障害者相談員の方々の相談活動へ寄与
- ・地域社会への障害に対する理解促進
機会を活かして、障害に対する正しい理解を発信